

■交通規制 注意喚起システム Traffic restriction Warning System (危険さっち) 機器仕様

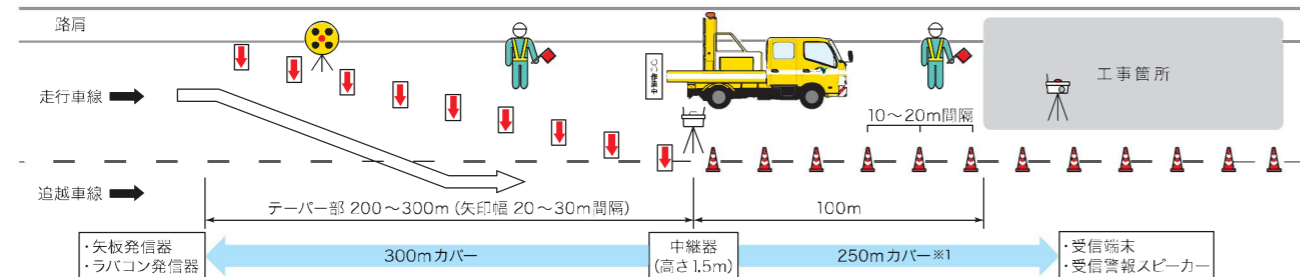
通信周波数(920MHz帯特定小電力無線利用): 923.0(MHz)(CH13) (920.6~923.4MHz:15ch 設定可)
最大接続数: 受信設定可能端末 64(台)

	矢板発信器	ラバコン発信器	ラバコン発信器(光っ子取付時)
外形寸法(mm)	幅 88×高さ 153×奥行 125	幅 100×高さ 207×奥行 107	幅 100×高さ 338×奥行 140
重量(g)	628(電池含む) / 581(本体のみ)	658(電池含む) / 375(本体のみ)	951(電池含む) / 668(本体のみ) / 293(光っ子単独)
連続待機時間 (常温:15℃~25℃)	160(時間)以上 ※リチウム乾電池(使用温度範囲-40℃~60℃)使用時	1,000(時間)以上 ※アルカリ乾電池(使用温度範囲-20℃~60℃)使用時	100(時間)以上 ※アルカリ乾電池(使用温度範囲-20℃~60℃)使用時
動作環境温度	-10℃ ~ 50℃	-10℃ ~ 50℃	-10℃ ~ 50℃
防塵・防水性	IP54準拠	IP54準拠	IP54準拠(光っ子本体:IPX3)
使用電源	単3×2本	単1×2本	単1×2本
送信距離	対受信端末:150m以上 ※下記【注意事項】参照 対受信警報スピーカー:300m以上 ※下記【注意事項】参照	対受信端末:150m以上 ※下記【注意事項】参照 対受信警報スピーカー:300m以上 ※下記【注意事項】参照	対受信端末:150m以上 ※下記【注意事項】参照 対受信警報スピーカー:300m以上 ※下記【注意事項】参照

	受信警報スピーカー	受信端末	中継器
外形寸法(mm)	幅 258×高さ 205×奥行 234	幅 76×高さ 125×奥行 25	幅 227×高さ 205×奥行 249
重量(g)	3,286(電池含む) / 2,150(本体のみ)	187(電池含む) / 171(本体のみ)	2,990(電池含む) / 1,854(本体のみ)
連続待機時間 (常温:15℃~25℃)	80(時間)以上 ※アルカリ乾電池(使用温度範囲-20℃~60℃)使用時	17(時間)以上 ※リチウムイオン電池「FR03HJ」 (使用温度範囲-20℃~60℃)使用時	1,000(時間)以上 ※アルカリ乾電池(使用温度範囲-20℃~60℃)使用時
動作環境温度	-10℃ ~ 50℃	-10℃ ~ 50℃	-10℃ ~ 50℃
防塵・防水性	IP54準拠	IP54準拠	IP54準拠
使用電源	単1×8本	単4×2本	単1×8本
備考	【警報音量(1m最大)】 110(dB)	【警報音量(1m最大)】 106(dB) 必ず、振動を感知しやすい「作業設備ポケット」に 入れて使用してください。	【設置間隔】 400m(標識車付近に1台設置した上で、 規制延長に応じ 400mピッチで設置する)

【注意事項】車線規制で利用する場合の機器配置(運用方法)について

必ず標識車付近に「中継器(三脚 1.5mの高さに設定)」を設置して利用して下さい。



- ※1 工事箇所が中継器から250m以上離れる場合は、400mピッチで中継器を増設して下さい。
- ※2 「カバー範囲」は直線部の場合。道路線形が悪い場合は、中継器を増設して利用願います。
- ※3 機器設置後、最遠端「発信器」~「受信器」間で必ず動作実験を実施して下さい。
- ※4 衝突された発信器は、再利用しないで下さい。

お問い合わせ

西日本高速道路エンジニアリング関西株式会社
〒567-0032 大阪府茨木市西駅前町5番16号 2F
TEL:072-631-5330 FAX:072-645-7799
URL: http://www.w-e-kansai.co.jp/
メールによるお問合せは ▶ sales@w-e-kansai.co.jp

販売代理店

西華産業株式会社
大阪プラント・環境部
〒530-0004 大阪市北区堂島浜一丁目4番4号
アクア堂島東館16階
TEL:06-6345-3173 FAX:06-6344-0262

交通規制注意喚起システム

Traffic restriction Warning System

〈危険さっち〉

交通規制作業者への避難誘導

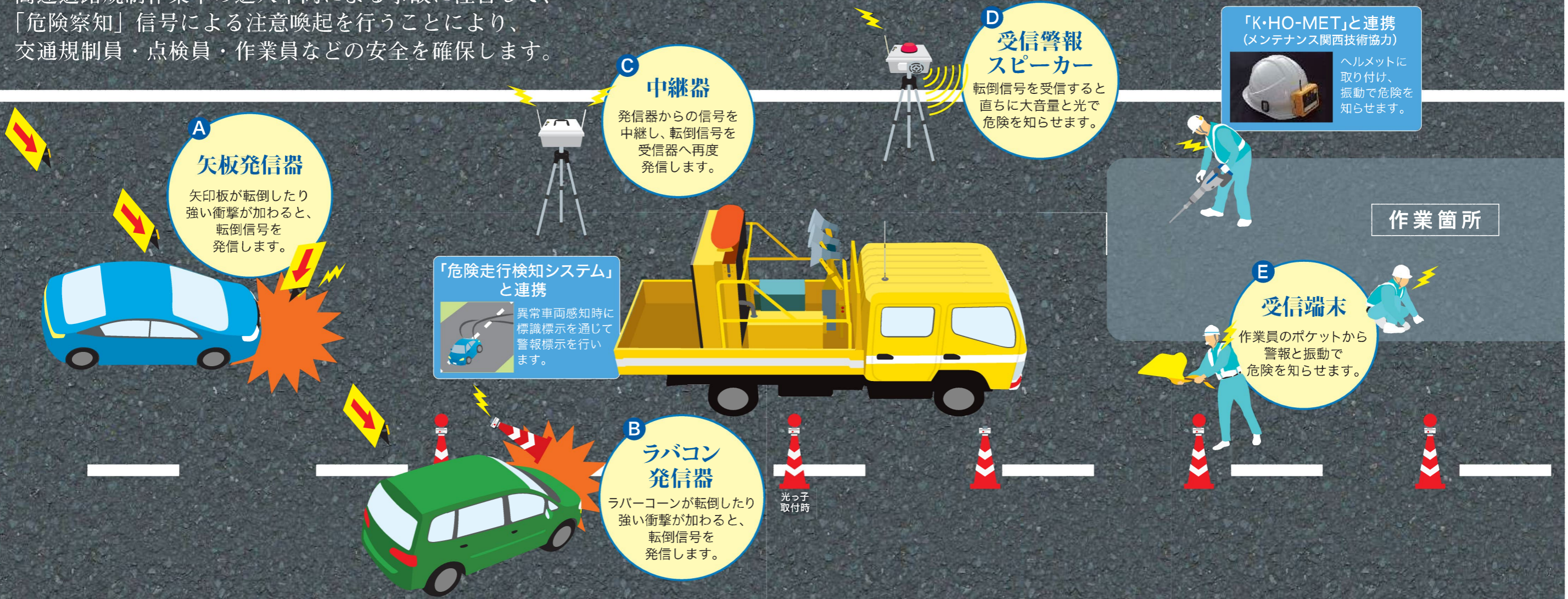


特許・意匠出願中



危険さっち 交通規制 注意喚起システム

高速道路規制作業中の進入車両による事故に注目して、「危険察知」信号による注意喚起を行うことにより、交通規制員・点検員・作業員などの安全を確保します。



A 矢板発信器
矢印板に挟み込んで使用します。

B ラバコン発信器
ラバークーンに差し込んで使用します。(光っ子取付時)

発信器が転倒したり、車両衝突等強い衝撃を加えることで転倒信号を発信します。信号発信中は電圧低下LED(赤)が点滅し、送信が終了すると消灯します。

C 中継器
発信器からの信号を受信し、転倒信号を再度発信します。送信側と受信側の伝搬距離が長くなる場合、中間に設置することで通報エリアの延長が可能になります。(400mピッチ)

「ダイバーシティ標識車」とも連携
ダイバーシティ標識車と連携し、上流側の走行車両へ標識で注意喚起します。また、標識車が異常走行車両を察知すると、受信端末へ危険を知らせます。

D 受信警報スピーカー
作業場所付近に設置し、大音量(調整可)と光で危険を知らせます。

E 受信端末
胸ポケットに収納し、警報と振動で危険を知らせます。

発信器からの転倒信号を受信すると直ちに警報ブザーが鳴動し(受信端末はパイプも鳴動)、受信警報スピーカーは連動して赤色灯が点滅します。一定(5秒)時間動作した後は信号受信待機状態に戻ります。

